

Disclosure 2024

城南信用金庫の 経営内容について

2024年度上半期

(2024年4月1日から9月30日までの6ヵ月間)



私たちはお客様応援企業として、
地域の皆様の幸せを守り、地域社会の発展、繁栄に貢献します

当金庫の概要 (2024年9月末現在)

設立/ 1945年8月 会員/ 254,020名 出資総額/ 453億円 従業員/ 1,961名
本店/ 東京都品川区西五反田7-2-3
店舗/ 86店 (うち有人出張所2・インターネット支店1)

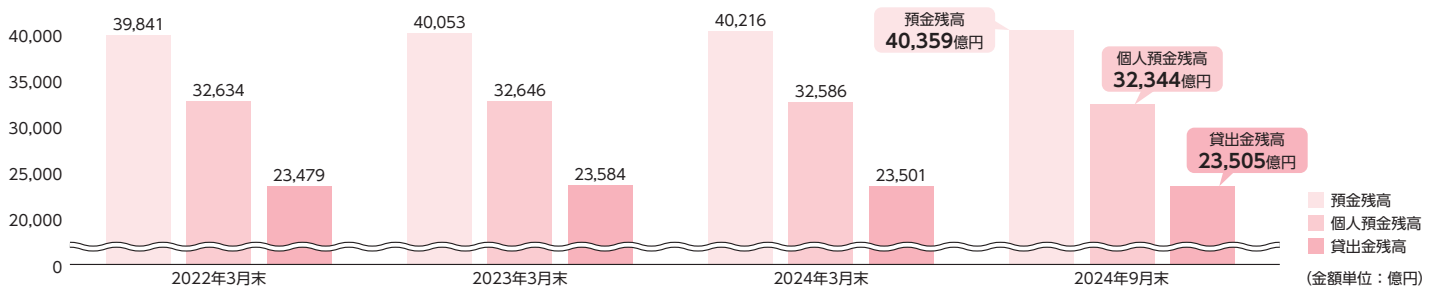
業績について

預金

預金については、この半年間で143億円増加し、残高は4兆359億円となりました。
また、地域のお客様からの信頼、信用のバロメーターともいべき個人預金については、3兆2,344億円となりました。

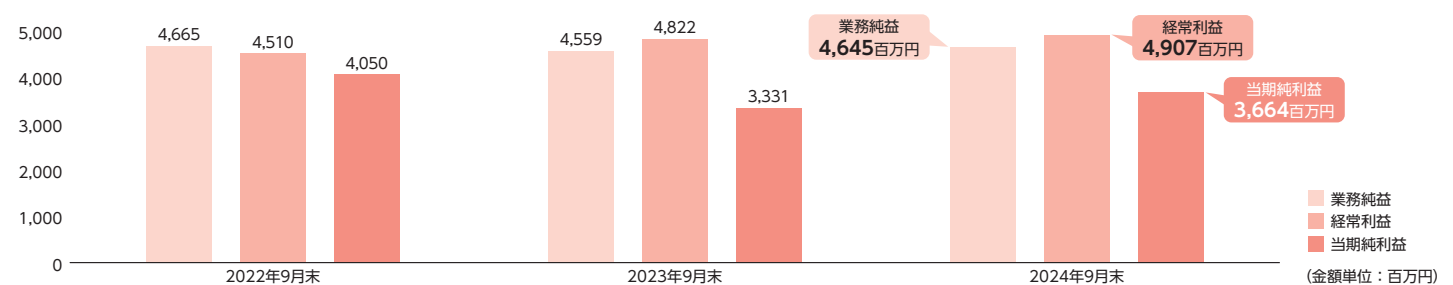
貸出金

貸出金については、お客様のお役に立つ融資の推進に取組んだ結果、残高は2兆3,505億円となりました。



収益について

収益については、本業からの利益である業務純益は46億45百万円、経常利益は49億7百万円、当期純利益は36億64百万円となりました。



自己資本比率について

2024年9月末の当金庫の自己資本比率は10.66%となり、国内基準である4%の2倍以上であり、当金庫の経営の健全性がわかりいただけると思います。

$$\text{自己資本比率} = \frac{1,854\text{億円(自己資本の額)}}{1兆7,388\text{億円(信用リスク・アセット+オペレーショナルリスク)}} \times 100 = 10.66\%$$

※コア資本に係る基礎項目の額－コア資本に係る調整項目の額

有価証券の状況について

2024年9月末における有価証券の保有状況は次の通りです。

市場価格のある株式と債券

(金額単位：百万円)

	帳簿価額	時価	評価差額
株 式	87	248	160
債 券	506,152	476,927	△29,224
合 計	506,240	477,175	△29,064

※評価差額は、市場金利の上昇による影響を受けていますが、右図の通り、保有する国債や地方債など、国内債券によるものであり、リスクの高い有価証券の保有はございません。

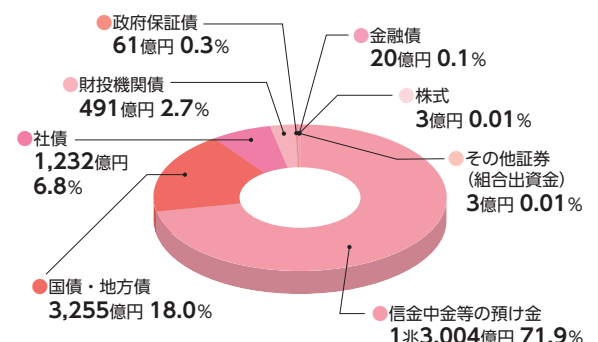
※評価差額の中には満期保有目的の債券に係るものも含んでいます。

市場価格のない株式等及び組合出資金

非上場株式	189百万円
子会社・子法人等株式	30百万円
組合出資金	308百万円

余裕資金の運用について

貸出金以外の運用については、信金中央金庫等の預け金が全体の71.9%を占め、その他は、国債・地方債が18.0%、国内優良企業の社債が6.8%等、安全性と流動性の高い債券がほとんどであり、株式はわずか0.01%しかなく、リスクの少ない、安全な運用に徹しています。



■ 債務者区分別貸出先数・貸出金残高等、分類貸出金

当金庫では、全貸出先について自己査定を実施していますが、自己査定にあたっては、まず債務者の財務や経営実態に応じて、正常先から破綻先までの5段階に債務者区分を行います。その結果が次の「債務者区分別貸出先数・貸出金残高等」です。

◆債務者区分別貸出先数・貸出金残高等 (金額単位：億円)

		先 数	金 額(構成比)
正 常 先	業況が良好で、財務内容にも問題のない先	43,221	15,641 (66.5%)
要 注 意 先	今後の管理に注意を要する先	7,927	6,948 (29.6%)
内 訳A	貸出条件緩和債権がなく、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	7,890	6,830 (29.1%)
	B 貸出条件緩和債権があり、かつ期限経過・延滞が1ヵ月未満の先	29	80 (0.3%)
	C 期限経過・延滞が1ヵ月以上3ヵ月未満の先、ならびに要管理先のうち、無保全額が多額で、将来においてリスクの発生する可能性が高く、個別に引当を行うことが望ましい先	8	37 (0.2%)
破綻懸念先	事業は継続しているものの、今後、経営破綻に陥る可能性がある先	1,890	780 (3.3%)
実質破綻先	実質的に経営破綻の状況に陥っている先	222	47 (0.2%)
破 綻 先	法的・形式的に経営破綻の事実が発生している先	72	21 (0.1%)
国・地方公共団体(回収について危険性がなく、債務者区分を行っていません)		2	69 (0.3%)
合 計		53,334	23,508 (100.0%)

次に、債務者区分毎に、担保・保証等による債権回収の可能性を精査して、貸出金をⅠ(非)分類からⅣ分類までの4つのランクに分類します。その結果が次の「分類貸出金」です。

◆分類貸出金 (金額単位：億円)

		金 額(構成比)	償却・引当予定額
Ⅰ(非)分類	回収について問題のない貸出金	18,455 (78.5%)	
Ⅱ分類	回収について注意を要する貸出金	5,047 (21.5%)	
Ⅲ分類	回収について重大な懸念がある貸出金	0 (0.0%)	0
Ⅳ分類	回収不能と判定される貸出金	5 (0.0%)	5
合 計		23,508 (100.0%)	5

※2023年度以前に引当てした貸出金はⅠ(非)分類となっています。
※Ⅲ分類、Ⅳ分類の貸出金は2024年4月1日から2024年9月末までに発生したものを計上しています。

2024年9月末現在、Ⅲ分類、Ⅳ分類の貸出金は合計5億円ありますが、これについては、決算時に全て償却・引当処理し、当金庫の不良債権は実質ゼロとなる見込みです。

なお、分類貸出金については、法律で開示が義務付けられていないため、開示していない金融機関がありますが、当金庫は、経営内容をガラス張りにして開示する観点から自主的に開示しています。

■ 信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分

「信用金庫法及び金融再生法に基づく開示債権区分」は次の通りです。このうち、「危険債権」と「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の無保全額については、引続き回収に鋭意取り組んでまいります。万一、年度末までに回収できない場合は、決算時に全て償却・引当処理する見込みです。

(金額単位：億円)

		金 額(構成比)	うち無保全額	償却・引当予定額
正常債権		22,585 (96.0%)		
要管理債権		84 (0.4%)		
	3ヵ月以上延滞債権	－ (ー%)		
	貸出条件緩和債権	84 (0.4%)		
危険債権		781 (3.3%)	0	0
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		69 (0.3%)	5	5
合 計		23,519 (100.0%)	5	5

※「金額(構成比)」は、単位未満を四捨五入しています。
※預金担保貸出金は、要管理債権には該当しないため、要管理債権から除外しています。

(注)各計数は、原則として単位未満を切り捨てて表示していますので、合計が一致しない場合があります。

品川区との包括連携に関する協定を締結

当金庫は、2024年6月26日(水)、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、産業振興による地域経済の持続的発展および区民サービスの向上、地域の活性化を図ることを目的に品川区との包括連携に関する協定を締結しました。

また、当金庫は、2024年7月22日(月)、品川区に「軟骨伝導イヤホン」を贈呈しました。

今後も、当金庫は高齢化社会を支える取組み等の地域の課題解決に努めてまいります。



株式会社学研ホールディングスとの包括連携に関する協定を締結

当金庫は、2024年6月26日(水)、地域社会の発展に寄与するため、相互に連携・協力することを目的に教育サービスや介護施設・子育て支援施設等の運営を行う株式会社学研ホールディングスとの包括連携に関する協定を締結しました。



商談会や相談会、セミナー等を開催

事業者の販路拡大をご支援する「商談会」をはじめ、事業者に共通するお悩みごとの解決をお手伝いする「相談会」やセミナー等を開催しました。



「建設関連企業との商談会」を開催



全国社会保険労務士会連合会による「欲しい人材の確保～働きがい改革のポイント～」セミナーを開催

2024“よい仕事おこし”フェア 入場無料

“よい仕事おこし”フェアとは

「信用金庫による地方創生」「日本を明るく元気に」をテーマに2012年より全国の信用金庫と共に絆を深め、中小企業の出会いの場を生み出すために毎年開催してまいりました。日本全国47都道府県の企業が集結し、普段では出会うことのない企業同士が、信用金庫のネットワークを通じて繋がることで、新たな発見・価値の創造が生まれています。日本を明るく元気にするためには、地域経済が活性化していく必要があります。全国の信用金庫ネットワークを有効に活用した当フェアの開催を通じて私たちが大切なお客様同士の懸け橋となり地域の「よい仕事おこし」を全力で応援いたします。

12/3(火)・4(水)
10:00~17:00 10:00~16:00

2日間
開催

東京ビッグサイト
南3・4ホール



出展企業の情報は
フェア
特設サイトを
Check!

お問合せ先

「“よい仕事おこし”フェア 実行委員会」事務局

TEL.03-3493-8130 (受付時間：平日 9:00~17:00) E-mail. yoishigoto-fair@jsbank.co.jp



城南信用金庫

〒141-8710 東京都品川区西五反田7-2-3

TEL. 03(3493)8111 (代表) <https://www.jsbank.co.jp>

